

電子家計簿（オンライン調査）の主な枠組みについて

家計調査及び全国消費実態調査における電子家計簿の導入については、以下の枠組みで検討を進める。

1 目的

- (1) 調査世帯による記入負担の軽減
- (2) 調査員及び指導員による審査事務の自動化
- (3) (独)統計センターによる集計事務の簡素化

2 電子家計簿の対象範囲

(1) 電子化する調査票の範囲

家計簿のみに限定せず、年間収入調査票、貯蓄等調査票など全ての調査票についてオンライン回答を可能とし、調査世帯には電子家計簿による回答を積極的に推進する方向で検討する。

ただし、電子家計簿の導入後も冊子家計簿による調査を併存させ、希望する調査世帯には、現行の冊子家計簿でも回答できるようにする。

(2) 対象とする世帯区分の範囲

二人以上の世帯、単身世帯ともに対象とする方向で検討する。特に、単身世帯については、世帯確保の対策として活用し、モニター調査とした場合も対象とする方向で検討する。

3 当面の検討事項

当面、以下の観点から、電子家計簿と冊子家計簿の差を比較検証する。

(1) 家計簿情報の集計結果の差

世帯の家計簿情報を集計した結果について、家計簿サイト等のデータの場合と現行の家計調査結果を比較し、違いを分析する。

(2) 家計簿記帳による学習効果の差

家計簿への継続的な記帳が与えるその後の支出への影響について、電子家計簿による調査と現行の家計調査の場合を比較する。

平成 21 年全国消費実態調査におけるオンライン調査の実施状況

1 オンライン調査の概要

平成 21 年全国消費実態調査では、中都市（人口 15 万人以上）のうちオンライン調査希望があった 40 市区において、調査員による回収及びオンライン回収の併用方式により、オンライン調査を実施した。

2 オンライン調査の回答率

調査票の種類別に回答率をみると、世帯票 4.1%、耐久財等調査票 4.5%、年収貯蓄等調査票 4.5%、家計簿 9 月 5.2%、同 10 月 5.5%、同 11 月 5.4%となっている。

オンライン調査対象市区別に回答率をみると、東京都特別区、横浜市、大和市などで高くなっている一方、オンライン回答が全くなかった市区もある。

市区別オンライン回答率

市町村番号	都道府県	市区	調査世帯数	回答率(%) (回答数/調査世帯数×100)					
				世帯票	家計簿A(9月)	耐久財等調査票	家計簿A(10月)	年収貯蓄等調査票	家計簿B(11月)
	全国		40 3,759	4.1	5.2	4.5	5.5	4.5	5.4
01202	北海道	函館市	168	1.2	1.9	3.6	1.8	0.6	1.2
05201	秋田県	秋田市	246	3.3	5.7	3.3	5.7	4.9	5.7
08201	茨城県	水戸市	209	3.8	4.2	1.9	3.8	2.9	3.8
11214	埼玉県	春日部市	117	5.1	6.5	6.0	5.1	5.1	6.0
12203	千葉県	市川市	209	4.3	7.3	2.9	7.2	2.9	6.2
12227	千葉県	浦安市	113	3.5	7.4	5.3	5.3	5.3	5.3
13105	東京都	文京区	14						
13109	東京都	品川区	28	17.9	12.5	14.3	14.3	17.9	17.9
13110	東京都	目黒区	28		8.3		7.1	7.1	7.1
13111	東京都	大田区	68		1.7	1.5	1.5	1.5	1.5
13112	東京都	世田谷区	69	11.6	15.0	14.5	14.5	14.5	13.0
13114	東京都	中野区	28						
13115	東京都	杉並区	42	16.7	19.4	16.7	16.7	16.7	16.7
13116	東京都	豊島区	28						
13121	東京都	足立区	54		6.3	3.7	5.6	3.7	5.6
14101	神奈川県	横浜市鶴見区	42	4.8	11.1	11.9	14.3	11.9	14.3
14103	神奈川県	横浜市西区	14						
14104	神奈川県	横浜市中区	28						
14105	神奈川県	横浜南区	28	7.1	8.3	10.7	10.7	10.7	10.7
14109	神奈川県	横浜市港北区	42	14.3	11.1	9.5	11.9	11.9	9.5
14113	神奈川県	横浜市緑区	26						
14115	神奈川県	横浜市栄区	27	14.8	8.3	14.8	14.8	14.8	14.8
14116	神奈川県	横浜市泉区	26	11.5	8.3	11.5	11.5	11.5	11.5
14212	神奈川県	厚木市	118	2.5	3.7	2.5	3.4	2.5	3.4
14213	神奈川県	大和市	120	20.8	17.6	18.3	20.0	19.2	20.0
15102	新潟県	新潟市東区	41	2.4					
15107	新潟県	新潟市西区	42	2.4	2.8	4.8	7.1	4.8	7.1
22210	静岡県	富士市	167		2.6	1.8	3.0	1.8	2.4
23201	愛知県	豊橋市	171	4.7	4.5	5.8	6.4	4.1	5.8
23203	愛知県	一宮市	166	1.2	2.6	2.4	2.4	1.8	2.4
28101	兵庫県	神戸市東灘区	42						
28102	兵庫県	神戸市灘区	28		4.2	3.6	3.6	3.6	3.6
28107	兵庫県	神戸市須磨区	42	14.3	13.9	9.5	11.9	9.5	11.9
28108	兵庫県	神戸市垂水区	56	3.6	4.2	3.6	3.6	3.6	3.6
28110	兵庫県	神戸市中央区	28						
28202	兵庫県	尼崎市	207	5.8	6.8	5.8	7.2	6.8	7.2
35201	山口県	下関市	169	1.2	1.9	1.2	1.8	1.2	1.8
38201	愛媛県	松山市	242	5.4	7.9	7.9	9.1	5.8	9.1
42201	長崎県	長崎市	209						
43201	熊本県	熊本市	257	1.6	2.2	2.7	3.5	2.7	3.1

※空欄は、オンライン回答がなかったことを示す。

平成 21 年全国消費実態調査 オンライン調査に関するアンケート集計結果 —電子家計簿について—

1 アンケートの概要

(1) アンケートの目的

平成21年全国消費実態調査では、調査票記入負担の軽減及びプライバシー保護の観点から、一部の地域において、従来の調査員回収と併用する形でオンライン回収を行った。

本アンケートは、複数ある調査票のうち最も記入負担の大きい家計簿に限定して、世帯のオンライン回答状況及び電子家計簿の使いやすさ等について調査し、今後の家計簿調査のオンライン回収方式のあり方や電子家計簿の設計についての検討材料を得ることを目的としている。

(2) 調査対象及び回収数

オンライン回収併用方式により調査を実施した40市区のすべての調査対象世帯3759世帯に対し、調査期間終了直後（平成21年12月初旬）に調査員がアンケートを配布し、郵送により2028世帯から回答があった（回収率54.0%）。

表1 世帯人員別アンケートの回収率

	調査対象世帯数 (実数)	アンケート回収数 (実数)	アンケート回収率 (%)	[参考] オンライン回答数 (実数)(注)	[参考] オンライン回答率 (%)
二人以上の世帯	3408	1841	54.0	202	5.9
単身世帯	351	149	42.5	10	2.8
(無記入・不詳)	-	38	-	-	-
合計	3759	2028	54.0	212	5.6

(注) オンライン回答数は電子調査票（Excelファイル）の回答数で、二人以上の世帯は調査期間3ヶ月間、単身世帯は調査期間2ヶ月間のうち、1ヶ月でもオンラインで回答があった場合は回答数に含めた。

2 回答者の属性

オンライン調査に関するアンケートの回答者は、2028人であった。年齢階級別では、60歳代の回答者の割合が24.7%と最も高く、20歳代以下の割合が低い。男女別では男性が70歳代で37.5%、女性が60歳代で24.5%となっており、回答者の割合が最も高い。世帯人員別回答者の構成比は、表3のとおりである。

図1 男女、年齢階級別回答者の構成比

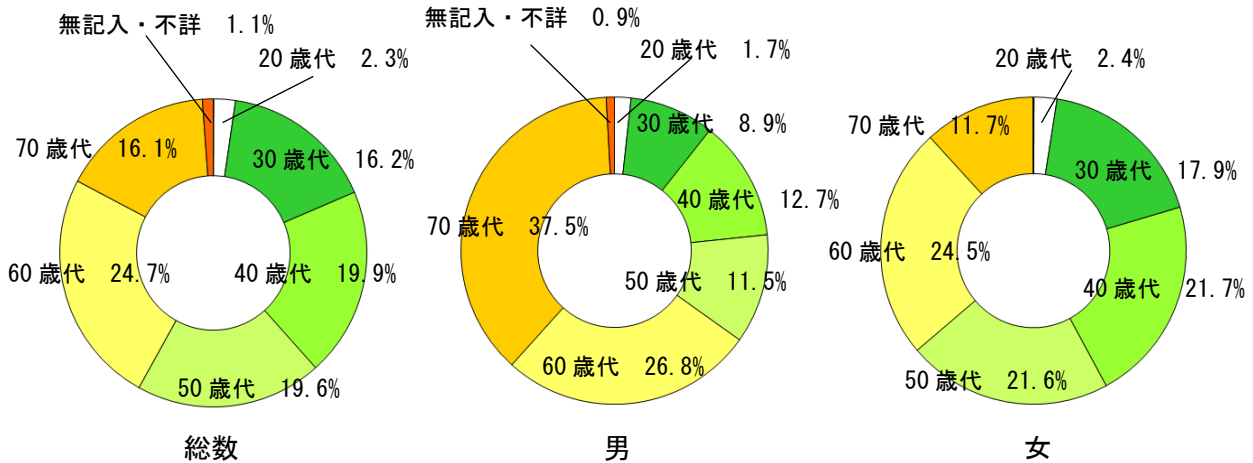


表2 男女、年齢階級別回答者

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無記入・不詳
総数(実数) (注)	2028	1	46	329	403	398	501	327	23
構成比(%)	100.0	0.0	2.3	16.2	19.9	19.6	24.7	16.1	1.1
男(実数)	347	0	6	31	44	40	93	130	3
構成比(%)	100.0	0.0	1.7	8.9	12.7	11.5	26.8	37.5	0.9
女(実数)	1655	1	40	297	359	358	405	194	1
構成比(%)	100.0	0.1	2.4	17.9	21.7	21.6	24.5	11.7	0.1

(注) 男女の別の不詳を含む。

表3 世帯人員別回答者

	総数	1人	2人以上	無記入・不詳
総数(実数)	2028	149	1841	38
構成比(%)	100.0	7.3	90.8	1.9

3 集計結果の概要

(1) 最初にインターネットで回答しようと思った人の割合

「最初にインターネットで回答しようと思った」人の割合は、アンケート回収数の8.9%となっている。年齢階級別にみると、20歳代、30歳代、40歳代の割合がいずれも15%程度と、他の年代よりも高くなっている。

表4 年齢階級、最初にどちらの回答方法で回答しようと思ったか別回答者の割合

	総数 (実数)	紙(冊子)の家 計簿で回答し ようと思った	インターネット で回答しよう と思った	無記入・不詳
総数	2028	90.1	8.9	1.0
20歳未満	1	100.0	0.0	0.0
20歳代	46	84.8	15.2	0.0
30歳代	329	84.2	14.3	1.5
40歳代	403	84.4	14.9	0.7
50歳代	398	91.2	8.3	0.5
60歳代	501	94.6	4.6	0.8
70歳代	327	96.0	2.8	1.2
無記入・不詳	23	82.6	8.7	8.7

(注) 平成22年2月末日までに統計局に返送されたアンケート数を総数とする。

(2) 最初にインターネットで回答しようと思った理由

「最初にインターネットで回答しようと思った」理由は、「紙（冊子）の家計簿での回答よりも簡単に回答できそうだから」が72.9%と最も高く、次いで「都合の良い時間に回答できるから」の53.0%となっている。年齢階級別にみると、50歳代では「調査員に家計簿を提出したくないから」及び「調査員に会う回数をなるべく減らしたいから」が他の年代と比べて、割合が高くなっている。

図2 最初にインターネットで回答しようと思った理由（複数回答）

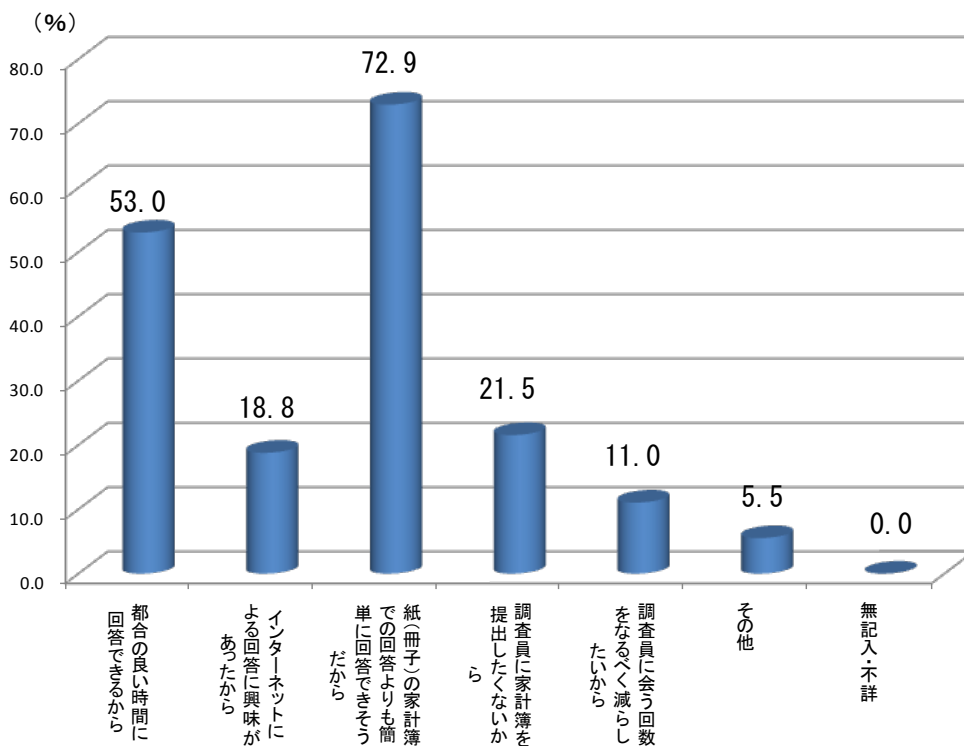


表5 年齢階級、男女、世帯人員、最初にインターネットで回答しようと思った理由（複数回答）

		(%)							
		総数 (実数)	都合の良い 時間に回答 できるから	インターネット による回答 に興味があ ったから	紙(冊子)の 家計簿での 回答よりも 簡単に回答 できそうだ から	調査員に家 計簿を提出 したくないか ら	調査員に会 う回数をな るべく減らし たいから	その他	無記入・不 詳
総数		181	53.0	18.8	72.9	21.5	11.0	5.5	0.0
	20歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	7	57.1	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0
	30歳代	47	40.4	12.8	78.7	10.6	6.4	4.3	0.0
	40歳代	60	65.0	15.0	73.3	20.0	10.0	5.0	0.0
	50歳代	33	48.5	18.2	63.6	48.5	27.3	12.1	0.0
	60歳代	23	56.5	43.5	69.6	21.7	0.0	4.3	0.0
	70歳代	9	44.4	33.3	77.8	0.0	11.1	0.0	0.0
	無記入・不詳	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男	64	62.5	18.8	68.8	12.5	6.3	6.3	0.0
	女	115	47.8	19.1	75.7	26.1	13.9	5.2	0.0
	無記入・不詳	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
世帯人員	1人	15	60.0	13.3	60.0	20.0	6.7	13.3	0.0
	2人以上	163	52.1	19.6	74.2	21.5	11.7	4.9	0.0
	無記入・不詳	3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

【「その他」の具体的な理由】

- 仕事で帰りが遅く、調査員に回答を手渡す機会がなかなかないから。
- 個人情報の漏洩の可能性が低そうだったから。
- 字が下手だから。
- 便利だと思ったから。
- 計算が面倒だから。
- 前日の履歴をすぐ見ることができるから。

(3) 最初にインターネットで回答しようと思った人の実際の回答方法

「最初にインターネットで回答しようと思った」人のうち、「実際にインターネットで回答した」人の割合は71.3%で、7割以上の人々が最初に思ったとおりインターネットで回答している。

図3 最初にインターネットで回答しようと思った人の実際の回答方法への推移

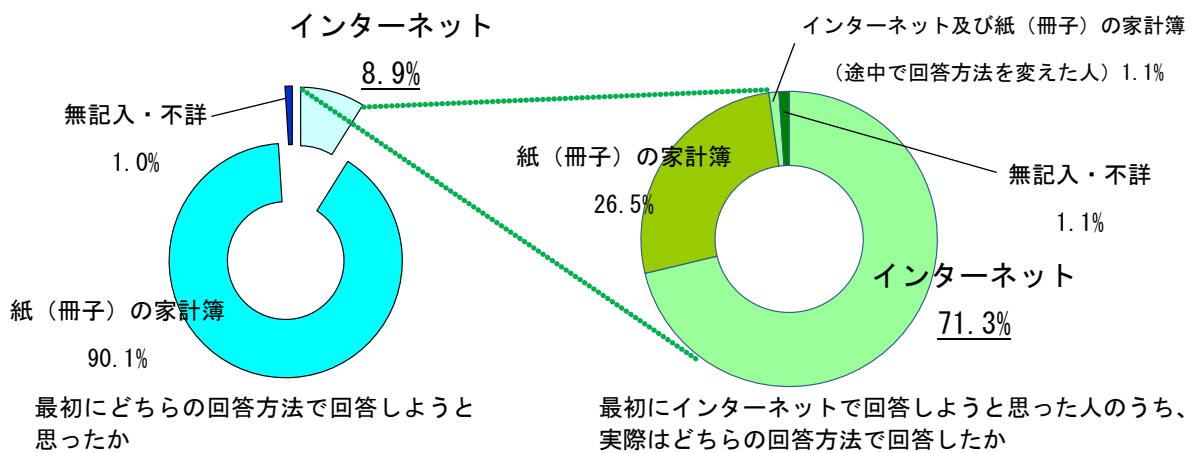


表6 男女、最初にインターネットで回答しようと思った人が実際はどちらの方法で回答したか別回答者

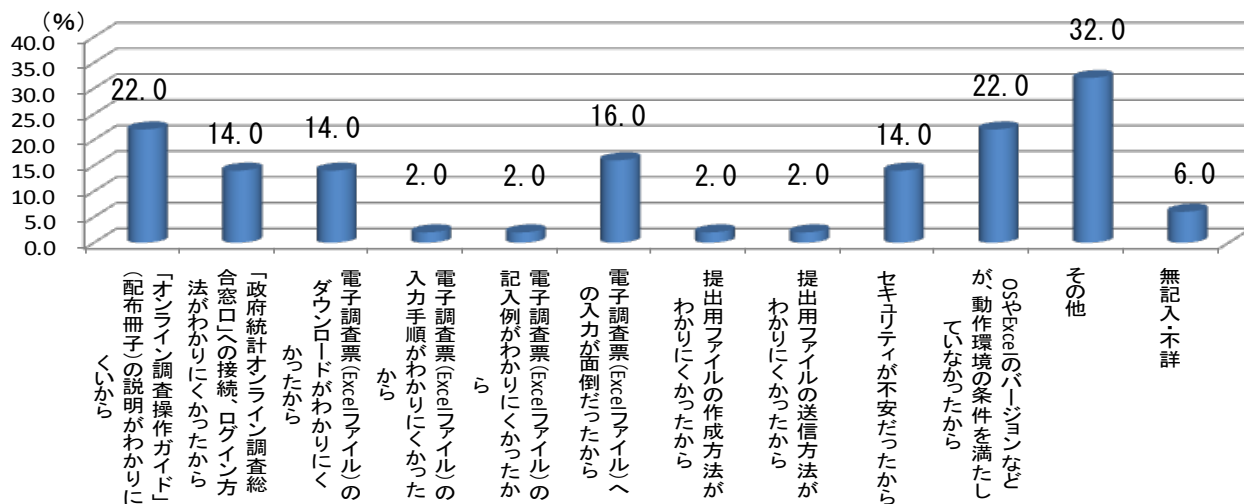
	総数	インターネットで回答した	紙(冊子)の家計簿で回答した	インターネット及び紙(冊子)の家計簿で回答した(注)	無記入・不詳
総数(実数)	181	129	48	2	2
構成比(%)	100.0	71.3	26.5	1.1	1.1
男(実数)	64	47	15	0	2
構成比(%)	100.0	73.4	23.4	0.0	3.1
女(実数)	115	81	32	2	0
構成比(%)	100.0	70.4	27.8	1.7	0.0

(注) 二人以上の世帯は調査期間3ヶ月間、単身世帯は調査期間2ヶ月間中に、途中で回答方法を変え、インターネット及び紙(冊子)の家計簿の両方で回答した人。

(4) 最初にインターネットで回答しようと思った人が実際は紙(冊子)の家計簿で回答した理由

「最初にインターネットで回答しようと思った」人が「実際は紙(冊子)の家計簿で回答した」理由では、「オンライン調査操作ガイド(配布冊子)の説明がわかりにくいから」及び「OSやExcelのバージョンなどが動作環境の条件を満たしていなかったから」が22.0%と高い割合となっている。

図4 最初にインターネットで回答しようと思った人が
実際は紙（冊子）の家計簿で回答した理由（複数回答）



【「その他」の具体的な理由】

- 調査員から紙（冊子）の家計簿のみ提示されたから。
- 電子調査票（Excel ファイル）が正常に動作しなかったから。
- オンライン回答が可能なことを忘れていたから。
- 細かい内容が伝わりにくいと思ったから。
- ログイン用のパスワードを忘れてしまったから。

(5) 最初に紙（冊子）の家計簿で回答しようと思った理由

「最初に紙（冊子）の家計簿で回答しようと思った」理由は、「紙（冊子）の家計簿の方が簡単に回答できそうだから」が59.8%と最も割合が高い。この理由を年齢階級別にみると、年代が高くなるほど、その割合も高くなっている。

次いで、「自宅にパソコンやインターネットを利用できる環境はあるが、自分は普段使わないから」が30.5%、「自宅にパソコンがない・インターネットを利用できる環境がないから」が25.9%となっている。

図7 最初に紙（冊子）の家計簿で回答しようと思った理由（複数回答）

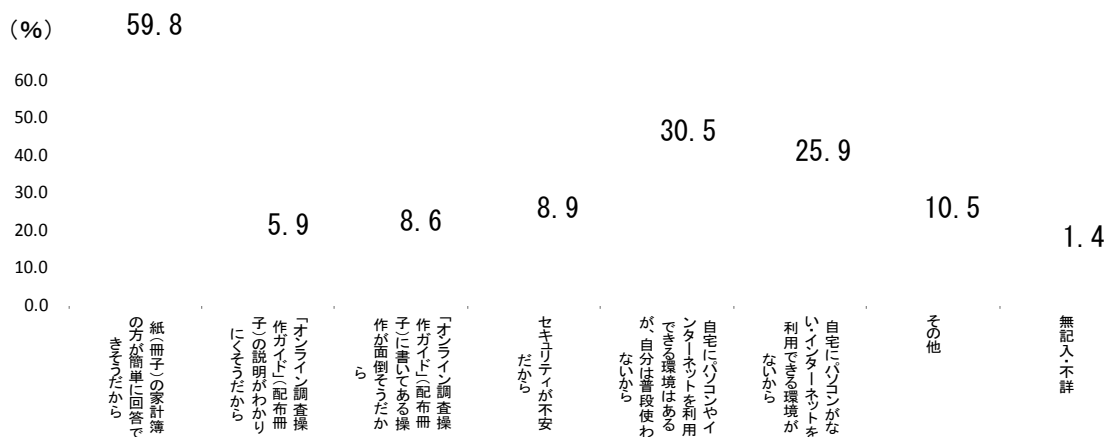


表8 年齢階級、男女、世帯人員別、最初に紙（冊子）の家計簿で回答しようと思った理由（複数回答）

		(%)								
		総数 (実数)	紙(冊子)の 家計簿の方 が簡単に回 答できそう だから	「オンライン 調査操作ガ イド」(配布 冊子)の説 明がわかり にくそうだ から	「オンライン 調査操作ガ イド」(配布 冊子)に書 いてある操 作が面倒そ うだから	セキュリテ ィが不安だ から	自宅にパソ コンやイン ターネットを 利用できる 環境はある が、自分は 普段使わな いから	自宅にパソ コンがない・ インターネット を利用でき る環境がな いから	その他	無記入・不 詳
総数		1827	59.8	5.9	8.6	8.9	30.5	25.9	10.5	1.4
	20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	20歳代	39	48.7	10.3	17.9	15.4	12.8	15.4	10.3	2.6
	30歳代	277	56.7	6.9	11.6	10.8	22.4	18.8	19.1	3.2
	40歳代	340	56.8	7.6	11.2	12.9	32.6	13.2	17.6	0.9
	50歳代	363	61.2	6.1	10.7	11.3	39.7	18.2	8.3	1.1
	60歳代	474	60.5	4.4	5.9	7.0	33.8	31.4	7.0	1.1
	70歳代	314	65.0	4.1	3.2	1.9	22.6	47.5	3.2	0.6
	無記入・不詳	19	52.6	10.5	15.8	15.8	26.3	26.3	5.3	5.3
	男	280	61.1	4.6	6.8	3.6	18.2	37.9	10.7	1.4
	女	1525	59.7	6.0	8.7	9.7	33.0	23.8	10.4	1.3
	無記入・不詳	22	54.5	13.6	22.7	22.7	18.2	18.2	13.6	4.5
世帯人員	1人	131	48.9	3.1	6.1	5.3	11.5	48.9	6.1	5.3
	2人以上	1663	60.8	6.0	8.7	9.2	32.1	24.1	10.9	1.0
	無記入・不詳	33	54.5	9.1	12.1	9.1	27.3	27.3	6.1	3.0

【「その他」の具体的な理由】

- オンライン調査があることを知らなかった。
- 毎回、パソコンを立ち上げることが面倒だと思った。
- 自宅のパソコンの調子が悪い。

(6) 実際にインターネットで回答した人の感想

①回答状況について

「回答がスムーズに進んだか」については、「スムーズに進んだ」の割合のほうが高くなっているものの、「スムーズに進まなかった」の割合も4割近くとなっている。

図8 回答状況の感想について

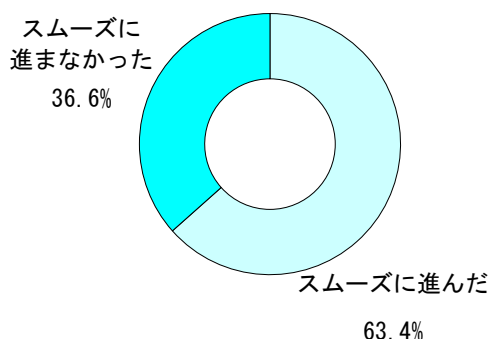


表9 男女別回答状況の感想について

		(%)			
		総数 (実数) (注)	回答状況について		
			スムーズに 進んだ	スムーズに 進まなかつ た	無記入・不 詳
総数		134	63.4	36.6	0.0
	男	47	66.0	34.0	0.0
	女	86	61.6	38.4	0.0

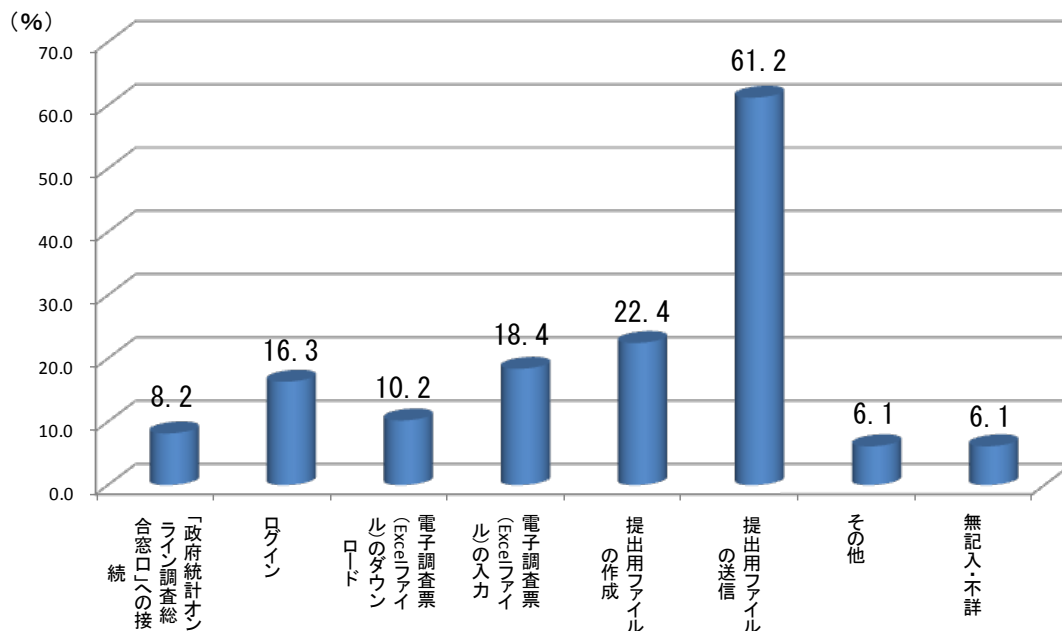
(注) 実際にインターネットで回答した人を総数とする。

②回答がスムーズに進まなかった操作について

回答が「スムーズに進まなかった」と回答した人について、「回答がスムーズに進まなかった操作」をみると、「提出用ファイルの送信」が61.2%で最も割合が高く、次いで「提出用ファイルの作成」が

22.4%となっている。回答データ提出にかかる一連の作業が困難であったことが、回答がスムーズに進まなかった要因としてうかがえる。

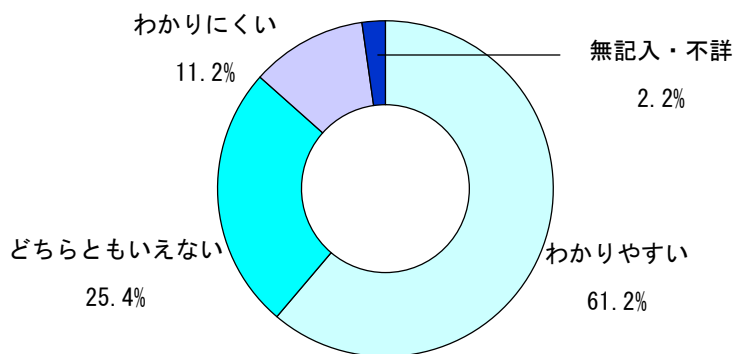
図9 回答がスムーズに進まなかった操作について（複数回答）



③ 「オンライン調査操作ガイド」（配布冊子）について

インターネットで回答した人のうち、「わかりやすい」が約6割、「わかりにくい」が約1割となっている。

図10 「オンライン調査操作ガイド」（配布冊子）の感想について



【各回答の選択理由】

『わかりやすい』

- 実際の入力画面がガイドに表示されていたから。
- 作業手順に沿って説明がされていたから。
- 丁寧に書かれていたから。

『どちらともいえない』

- 理解するのに時間がかかった。
- PC操作に慣れていない人にはわかりにくいのではないかな。

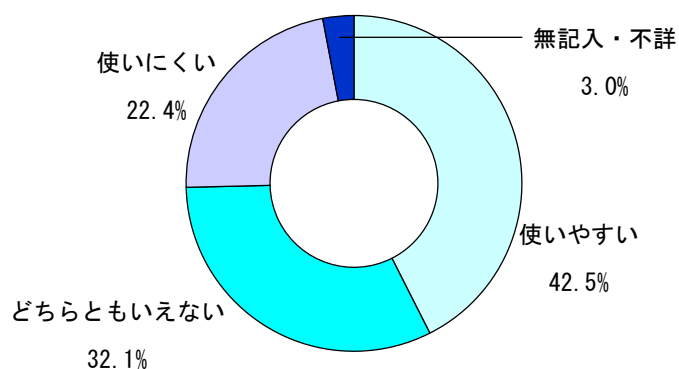
『わかりにくい』

- 提出用ファイルの作成・送信方法をもう少し詳しく書いてほしかった。
- すみずみまで見ないと出来ない。もう少し簡単に。

④電子調査票 (Excel ファイル) について

インターネットで回答した人のうち、「使いやすい」が約4割、「どちらともいえない」が約3割、「使いにくい」が約2割となっている。

図 11 電子調査票 (Excel ファイル) について



【各回答の選択理由】

『使いやすい』

- 関数や自動計算で楽に入力できた。
- シンプルで使いやすい。普通の Excel と変わらないから。

『どちらともいえない』

- 11月分の購入先など毎回プルダウンして選択するのが面倒だった。
- 単純な入力はしやすかったが、行の挿入ができないなど通常の Excel に慣れている者には使いづらい部分もあった。

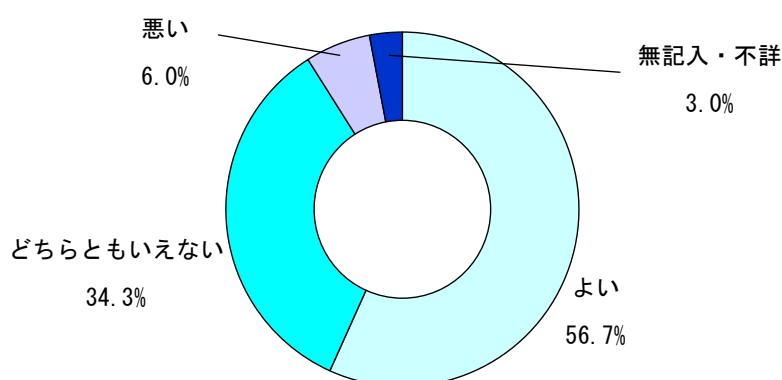
『使いにくい』

- 書き漏れ分を入力したい場合、行の挿入ができないから。
- コピー・カット・ペーストが思うようにできないから。セルの保護がかかっている。

⑤総合評価について

インターネットで回答した人のうち、「よい」が56.7%、「どちらともいえない」が34.3%、「悪い」が6.0%となっている。

図 12 総合評価について



【各回答の選択理由】

『よい』

- 特に問題なく回答できたから。
- 紙（冊子）の家計簿で回答するよりは楽だと思うから。

『どちらともいえない』

- 計算しなくていいところはよかったが、全体的に Excel 慣れしている人には使いづらい。
- 提出用ファイルの送信がわかりにくかった。

『悪い』

- 紙より入力はやさしいが、あまりメリットを感じなかった。
- 提出用ファイル送信に対する受付完了通知メールの到着が遅いため、何回も送信を繰り返した。

(7) コールセンターの対応について

調査票の回答方法によらず、コールセンターに問い合わせた人は全体の13.2%（268人）となっている。このうち、インターネットで回答した人は22.0%（59人）で、実際にインターネットで回答した人の44.0%にあたる。

また、「紙（冊子）の家計簿で回答した人」の11.0%がコールセンターへ問い合わせしており、インターネットで回答した人のコールセンターの利用状況と差が見られる。

次に、インターネットで回答し、コールセンターに問い合わせた人について、コールセンターの対応についてみると、コールセンターの対応が「よい」と回答した割合は74.6%、「どちらともいえない」は11.9%、「悪い」は13.6%となっている。

「コールセンターに電話して問題は解決したか」については、「解決した」が76.3%、「解決しなかった」が16.9%となっている。

なお、コールセンターで対応できない複雑案件は、政府統計共同利用システムヘルプデスクまたは統計局消費統計課が対応した。

図 13 コールセンターへの問い合わせ状況について

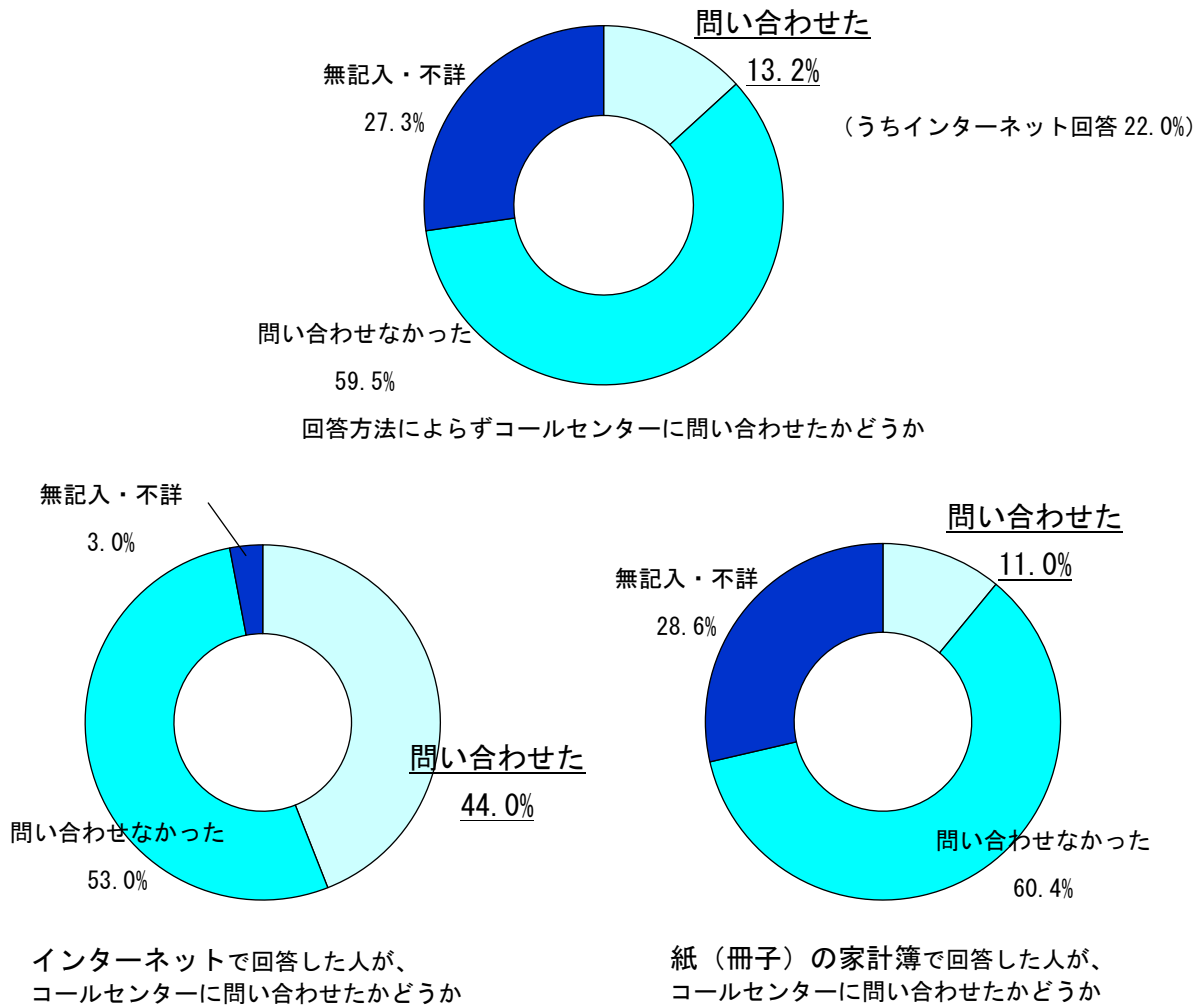
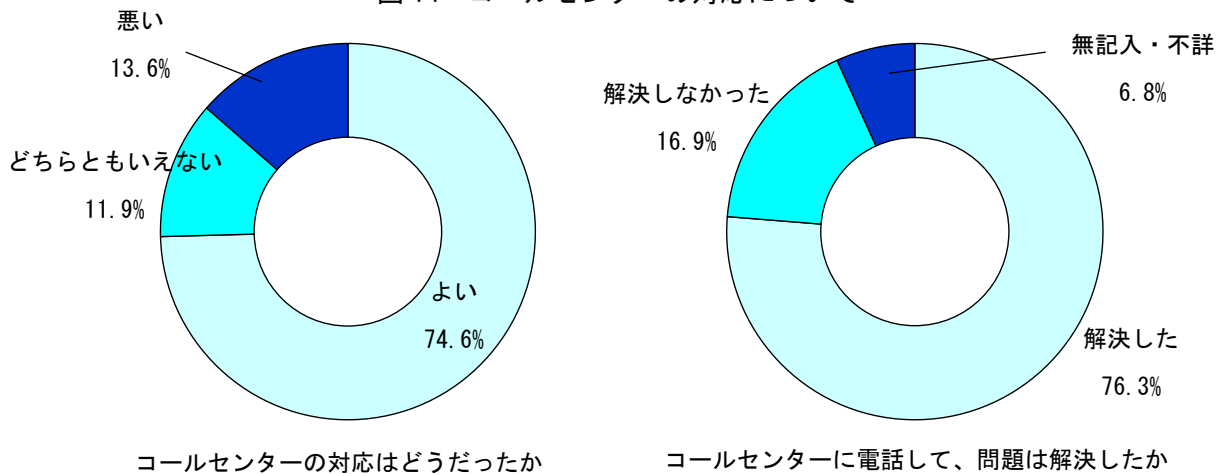


図 14 コールセンターの対応について



(8) オンライン調査に関する意見・感想について

オンライン調査に関する意見・感想について自由回答していただいたところ、有効回答件数は156件だった。主な内容別に集計したところ、「電子調査票の使い方が難しい・使いづらい」が、32件と最

も多く、次に「調査員からオンライン調査の説明がなかった」が26件となっている。

「電子調査票の使い方」については、「オンライン調査操作ガイドを読んでも難しかった」、「PC操作に慣れていない人にはこの操作は難しいのではないか」といった意見が多数挙げられている。

また、「調査員からオンライン調査の説明があればオンライン調査を選んだ」という意見や、「調査票配布時にその場で紙の調査票で回答するか、オンラインで回答するか決めるのではなく、オンライン調査操作ガイドを読んで検討してから回答方式を決めたかった」という意見も、数件挙げられている。

さらに、「動作環境の改善」の具体的内容については、「有料ソフトであるExcelを使うのではなく、無料ソフトで対応するべきだ」という意見も、少数であるが挙げられている。

(補足) 統計局消費統計課では、調査員が調査開始時に世帯に対し調査票を配布する際、「オンライン調査操作ガイド」も同時に配布し、インターネットからでも回答できる旨の説明をするよう市区に指導しており、回答方法の決定についても、必ずしも調査票配布時でなくともよいとしている。

図 15 オンライン調査に関する意見・感想について（複数回答）

